38

〈新竹サイエンスパーク視察〉 【台湾のサイエンスパークの概要】

現在、台湾には北部・中部・南部の3つのエリアに合計13ヶ所のサイエンスパークがある。1980年に、台湾で初めて北部エリアの中心となる新竹にサイエンスパークが創設された。単独の面積は653ha、北部エリア全体で面積は1,342haに上る。以降1997年に南部サイエンスパークエリア(面積:1,613ha)、2003年に中部サイエンスパークエリア(面積:1,485ha)が創設され、総面積4,440haと世界最大級を誇る。



【新竹サイエンスパークの概要】

- 1. 技術研究環境づくり
 - ・清華大学、交通大学(台湾で第2位、第 3位の学力)が立地している。
 - ・工業技術研究院(ITRI=Industrial Technology Research Institute)があり、国の主導のもと、パーク内に立地している民間企業との技術協力を活発に行っている。
- 2. 安定な電気・水道供給システム
 - ・国有地に立地する新竹サイエンスパーク は、国が管理しており、産官学で連携し、 台湾の半導体産業の底上げを図っている。
 - 管理局が資源の管理をしており、デュアルパワーフィードシステム(変電所5ヶ所有)で電源供給している。
- 3. 安心安全な職場作り
 - ・リフレッシュ施設、クリニック、無料シャトルバス、社宅、社員寮等を整備している。
 - ・台湾政府の各機関が直接管理局に委託し、 企業に行政サービスを提供している。



・AIを最大限に利用した管理体制になっ ている。

4. 高度な専門職人財

- 歳、平均年収54千台湾ドル(国内最高都 市)。
- ・2017年は企業数537社で総売上10.189億台 湾ドルで、IC関連業種が72%を占める。

〈台湾三三会との夕食会〉

台湾の名立たる大企業が所属する三三企業 交流会及び台日商務交流協進会の会員20名の 方にご参加いただき、小林筆頭代表理事及び 鄭氏挨拶、記念品交換、喜谷幹事乾杯挨拶を 皮切りに盛大な夕食会が開催された。



鄭世松氏挨拶(抜粋)

日はこのような素晴らしい夕食会に、三三会



と台日商務交流協進会の会員をご招待賜り、 誠にありがとうございます。

今年の5月に栃木県を訪問いたしまして、 ・総従業員153千人を有し、平均年齢36.2 早いもので、もう半年が過ぎました。川田ロ ボティクス、レオン自動機、キヤノンメディカ ルシステムズ、そして日光東照宮を見学する ことができ、大変有意義な訪日ミッションに なりました。台湾企業訪問団の受入れにご尽 力くださいました栃木県の皆さまに、この場 をお借りしましてあらためて御礼申し上げます。

私たち台湾企業訪日団は、日本企業との交 流を目的に、年に2回から3回、ミッション を日本各地へ派遣しております。地方都市の、 優秀な技術を持つ中小企業との交流に重点を 置き、既に日本の47都道府県の3分の2以上 の地域を訪問いたしました。今年は、春に栃 木県と茨城県、秋に三重県と愛知県を訪問い たしました。そして来年の春に、鹿児島県と 宮崎県、秋に石川県と富山県を訪問する予定 でございます。私たちはこれからも、日本の 地方都市の優秀な技術を持つ中小企業との交 流に力を入れ、共に中国や東南アジアなどの 第三国を目指せるような関係を目指していき たいと思っております。皆さまの台湾視察の 三三企業交流会顧問の鄭でございます。本 成功を祈念いたしまして、簡単ではございま すが私の挨拶とさせていただきます。





〈台北市街観光組とゴルフ組〉

4日目は、台北市街観光組とゴルフ組に分かれた。観光組は、台北市内の龍山寺や廸化街を観光し、昼食は鼎泰豊で小龍包を食した。

ゴルフ組は、海に近い東華ゴルフクラブにて コンペを開催した。その後空港で合流し、帰 国の途に就いた。



観光組



ゴルフ組

モーニングセミナー テーマ「発信!とちぎ自慢」 10 きのこ産業と共に―



健市 氏 講師:川嶋

㈱北研 代表取締役社長

昭和26年 3 月10日生まれ

東京三洋電機㈱ 入社 昭和44年 足利工業高等学校卒業後、

山形大学農学部林学科 北研産業㈱(現㈱北研) 昭和52年3月 昭和52年4月

食用菌類研究所 研究員 昭和57年7月 食用菌類研究所 主任

平成元年7月 営業部技術主幹

平成5年7月

西日本営業所長 取締役西日本営業統括部長 取締役製造部長 平成10年8月

平成14年 4 月

平成16年7月 取締役製造部長 兼 きのこ生産販売事業部長

平成20年7月 取締役営業本部長 平成22年7月 代表取締役社長

日 時:平成30年10月10日(水)

 $8:00\sim9:00$

会 場:宇都宮グランドホテル 扇の間

参加者:62名

【講演要旨】

本日は、「きのこの種菌」という、皆様に あまり馴染みのない仕事をしている弊社につ いて、お話しさせていただきたいと思います。

【会社概要と研究開発】

1961年6月、きのこ産業に携わっていた初 代社長内堀忠利他6名で、椎茸種駒製造販売 会社、北研産業㈱を壬生町駅東町に設立しま した。

社是は、創立以来「栽培者が有るから会社 が在る」で、「きのこ産業の未来を創造し、 広く社会に貢献する」ことを会社の理念とし ています。また、初代社長の恩師、安岡正篤 先生から揮毫頂いた「志正しければ、則ち業 興る」と書かれた書を役員室に飾り、会社の 道標としています。

設立当初、多くの先発有力メーカーがある 中、新たに種駒を販売するのは厳しく、工場 の稼働期間は半年ほどでした。そのため、干 瓢と干し椎茸の袋詰めを作って販売したり、 伊豆から仕入れたミカンを販売したりして、 糊口を凌いでいた時期もあったそうです。

そこで、なめこに照準を絞り研究開発を重 ねた結果、1967年に、なめこの菌床栽培技術 を確立し、全国に普及できるようになりまし た。1975年には、なめこの種菌シェアが40% を超え、業界では「なめこの北研」と呼ばれ るようになりましたが、きのこ種菌販売の多 くを占めていたのは椎茸だったので、研究所 長と共に、得意の菌床技術を応用した椎茸の 品種改良の研究を行いました。研究を重ねて 開発したのが、菌床適応椎茸品種「北研600 号」です。夏場にこの椎茸を出荷したところ、 市場から思いがけない高い評価を頂きました。 椎茸は、夏の高温時季だと生育が早く、肉質 が柔らかくなってしまうのですが、菌床栽培 椎茸は空調栽培のため、肉厚で肉質の硬いも のができたからです。

1987年1月には、「サンマッシュ生産協議 会」を設立しました。協議会の中では栽培技 術をオープンにし、また各生産者が持ってい た独自の栽培技術の発表の場を作って、それ らを当社で取り纏め、普遍的技術としたとこ ろ、更に多くの栽培技術が集まり、参加者も 増えました。2010年には、会員数が2,000名 を超え、菌床椎茸生産シェアが50%以上を占 めるようになりました。全国大会を毎年開催 して、研修会、品評会、レシピコンテスト、 視察会、懇親会を企画し、交流を図っていま

を開催します。

2010年9月、より良い種菌の安定供給がで きるよう、壬生町藤井に種菌工場を新設しま した。種菌製造は、クリーンな環境の中、原 料の受入検査や環境検査等、徹底した管理の 下で行なっています。その他、品種のDNA 解析、菌叢の顕微鏡検査、殺菌後培地の無菌 検査、放射能検査等も行なっています。東日 本大震災後、風評被害があったことから、放 射能検査についてはより信頼性を高めるため に、外部機関の検査も受けており、また消費 者離れを防ぐためにも、安全・安心なきのこ づくりの啓蒙をずっと推進しています。

種菌工場には自家発電機も設置しています。 当初は設置を見送ったのですが、東日本大震 災で停電となったことから、すぐに設置を決 めました。日本の椎茸産業のために、椎茸種 菌を止めることはできないからです。

研究開発では、栽培者が求める要望に応え ようと、早生・多産を求めがちとなります。し かし、「きのこは食べ物なので、美味しさを忘 れることがあってはいけない」と日頃から話し ています。研究員もそのことを大切にして、日々 研究に取り組んでくれています。来春発表の 新品種は、短期栽培型の超豊産品種で、培養 日数が70日~90日で、1回に700~800g取れ る画期的なものですが、味・歯ごたえも大切 にしたものとなっています。また、研究員の研 究開発の幅が広がるよう、地下生のきのこや 光るきのこ等、本来の研究とは異なる研究に も取り組ませ、学会発表もさせています。

特許は、会社独自のものの他、生産者と共 に取得したものがあり、全て無償で提供して います。特許技術の一つ「上面栽培技術」は、 発生中の菌床を水に浸した状態で栽培するこ とで、大形のきのこが安定して収穫できる技 術です。

馬頭工場では、新しい品種や技術を活用し、 年間150 t の椎茸の試験生産を行っています。

【社内改革】

原発事故後、急速な売上減少のため、社内業を続けていきたいと思います。

す。来年1月には、栃木県で第33回全国大会 改革として、女性だけのコスト削減委員会を 作る等、役職員を挙げて改革に取り組んだ結 果、約1億円のコスト削減ができ、安定して 利益のでる体質に転換しました。中期経営計 画発表会では、全社員に経営内容を公開し、 少しでも喜んで頂けるよう、賞与や福利厚生 で還元しています。また昨年は、自分たちの会 社であるという意識を、より強く持ってもらえ るよう、40名の社員に株主になって頂きました。

【社会貢献】

椎茸は、子どもたちの嫌いな野菜のワース ト5に入る等、悪いイメージもあるため、社 長就任後の2010年から社員と、地元の小学校 を中心に、きのこの美味しさや栽培に興味を 持ってもらえるよう食育活動を始めました。 現在、全国の栽培者の方と共に、各地で活動 を行っています。昨年は、全国で1,000名以 上の児童に食育活動を行うことができました。 夢は、毎年1万名の子どもたちに食育活動を 行えるようになることです。

設立当初より、納税は会社の大切な使命の 一つとしています。現在、栃木税務署から9 期連続で優良申告法人の表彰を頂いており、 今後も継続していきたいと考えています。

また、きのこの世界を伝えるため、文化的 な面でも貢献したいと願い、本の執筆や講演、 きのこ鑑定会の講師等も行ってきました。研 究所では学術担当研究員も採用しています。

【最後に】

今後、日本は人口減少に伴い食料消費量も 減少していきます。しかし、世界の人口は増 加し、2050年には98億人になると言われてい ますので、世界のどこかで弊社の力を必要と している所がないかと模索しています。数年 前、台湾の椎茸業界から協力依頼があり、調 査したところ、技術の遅れ等から衰退の危機 に瀕していることがわかり、昨年からプロジェ クトチームを立ち上げて、毎月、技術指導を 行なっています。

私共の技術が、少しでも世界のきのこ生産 の役に立てることを夢に見ながら、今後も事

モーニングセミナー 11 月

テーマ「優秀経営者賞受賞講演」 ーニ世経営者による実践経営~社会貢献を目指して~ー



講師:飯村 愼一氏

光陽電気工事㈱ 代表取締役社長

1947年7月5日生まれ

1941年 1 月 0 口生 ▲学 | 豚

米国テキサス大学 工学部土木工学科 卒業 米国テキサス大学 理学部コンピュータサイエンス科 卒業 早稲田大学大学院 ビジネススクール MBA 卒業

◆職 歴 1983年 光陽電気工事株式会社 入社 1991年 取締役副社長 就任 19995年 代表取締役社長 就任

◆公職・団体等 (公社)経済同友会 幹事、宇都宮商工会議所 常議員、 (大)宇都宮大学経営協議会委員、(一社)宇都宮労働基準協

(大) 宇都宮大学経営協議会委員、(一社) 宇都宮労働基準協会理事、国際ロータリー第2550地区 ガバナー、他

日 時:平成30年11月14日(水)

 $8:00\sim9:00$

会 場:宇都宮グランドホテル 扇の間

参加者:74名

【講演要旨】

本日は、二世経営者として、どのように取り組んできたかお話ししたいと思います。

【 I 理念による経営】

創業者から事業を継承した二代目経営者が会社を成長させていくためには、社内(経営理念、教育等)や事業のイノベーションを行っていかなければならないと思っています。会社を二代目で倒産させるのは、大変悲しい話です。だから私は「増収増益にはこだわらない。収益の多少に拘らず毎年の収益確保にこだわる。」をコンセプトにし、常に「倒産への危機意識」を持つようにしています。

私が35歳で光陽電気工事に入社した時には、 経営理念、社是、社訓、経営計画等、何もありませんでした。そこで、現在も基本となっている理念を5年間かけて作りました。それが「若さと独創性にあふれた全社員が一丸となって、日々新たな気持ちと親切心を持ちながら、お客様に最高のサービスを提供し、企業の永続的な繁栄と社員の幸福を目指し、地域社会へ貢献する。」です。世界最大資産運用会社米ブラックロックの会長も、企業は社会貢献の理念を示すよう言っています。

理念にあるサービスの提供とは「お客様の ニーズを満たし、満足を提供することで、相 応しい報酬を頂戴する。」ということで、利他 と利己とのバランスの大切さを言っています。 経営の神様、稲盛和夫氏は「利己を抑えれ ば、利他の心が現れる」「経営とは利他行で あり、会社の拡大は利他行の拡大です。」と 言っています。日本資本主義の父、渋沢栄一 氏は、「資本主義とは、利益(利己)追求と いう欲望のエンジンで暴走の歯止めが必要。」 だと、「論語と算盤」に書いています。しか し、欲望のエンジンは暴走し、企業不祥事の 歴史が続いています。だから、企業経営では、 経営者の魂を入れた、利他の心の「経営理念」 をしっかりと確立し、従業員へ浸透させるこ とが重要となるのです。

【Ⅱ 組織経営(経営計画書による経営)】

経営とは、トップの考えていることを、働く人の協力を得て達成することです。そのためには、経営理念の確立・経営方針の明確化を行い、羅針盤となるような、会社のあるべき姿、歩むべき道を年度経営計画書でしっかり作り、戦略的経営をすることが重要です。まず、トップが戦略(経営理念、目標、方針、組織)を立て、それを基に幹部が戦術(部門方針・計画、実行スケジュール)を作り、社員が実施(行動、成果、評価)していきます。

経営は、協力者を作ることが重要です。私 は土木工学を履修した門外漢だったため、約 100名いる電気専門技術者の協力が必要でした。アンドリュー・カーネギーの墓石銘に、「己より優れた者を周りに集めた者、ここに眠る。」とあります。カーネギーは、自分より優れた人を集め、マネジメントしました。また、山本五十六は、「話し合い耳を傾け承認し任せてやらねば人は育たず」「やっている姿を感謝で見守って信頼せねば人は実らず」と、権限委譲と信頼について言っています。当時、これらの言葉に非常に励まされました。

当社は、教育も重視しており、経営方針計画書の中に「光陽百年の計は人づくりにあり」と人材育成の重要さを書いています。一昨年からは、KOYO技能・技術大学校を開校し、各部門長や幹部が講師となり、未来の光陽を支えてくれる若者へ技術の伝承を行っています。

社長とは事業を経営する人であり、その事業 の運営は社長の双肩にかかっています。社長の 「正しい姿勢」が必要とされており、それこそ が「正しい経営」なのです。つまり、正しい経 営とは、社長は自らの経営理念に基づくわが社 の未来像を持ち、それを実現するために、目標 と方針を自らの意志と責任において決定し、経 営計画を社員によく説明し、協力を求めていく ことです。だから、働き方改革の対象は社長で あり、社員を信頼し、大切にし、任せながら、 共に働いていく社長として、サーバント・リー ダーシップが必要なのではないでしょうか。

現在、社長就任時と比べ、社員数が2倍、 純資産が約5倍、自己資本比率が71%、ROE が12%となりました。直近3年間の利益は右 肩上がりになっています。送電線と電気工事 で創業した事業は、新規事業を立ち上げ、あ らゆるニーズにワンストップで対応できるよ うにしました。私は、現状の延長線には未来 はないと考えています。だから、わが社は100 年企業を目指して、新事業・新技術に果敢に チャレンジしていきたいと思います。

【Ⅲ 社会貢献の実践】

当社は、社長は社外活動、社員は業務を通 し社会貢献を行うという考え方です。

経営者として地域社会に貢献するために、 経済・奉仕・専門・教育分野(経済同友会、 国際ロータリー、栃木県設備業協会、大学関 係等)に協力させていただいています。社員 は業務で貢献しています。例えば、平成27年 の台風18号による災害時には、東京電力様が お客様に電力を安定供給するため、設備を早 期復旧するという想いに協力させていただき、 一丸となって緊急復旧工事を行い、冬季中断 前に完工しました。業界新聞では、緊急対応 の模範ケースとして、評判となりました。

社会貢献のひとつに寄付がありますが、米 国経営者は「成功した経営者とは、社会へい かに多くの富を還元したか。」を考えるため、 日本と米国では、寄付文化も大きく違います。 例えば、Amazon の創業者ジェフ・ベゾス 氏は、自身の親が移民だったことから、DA CA大学生に奨学金約37億円を寄付していま す。デル・コンピューターの創業者マイケル・ デル氏は、テキサス大学にコンピュータサイ エンス学部の建物等を寄贈しています。マイ クロソフトの創業者ビル・ゲイツ氏は、メリ ンダ&ビル・ゲイツ財団を設立し、約3.3兆 円寄付しています。2017年の国際ロータリー のアトランタ大会では、ゲイツ氏からポリオ 撲滅運動に対し、財団がロータリアンの寄付 の倍額を寄付すると宣言がありました。私も 日本に帰国後すぐに寄付を行い、この2年間 で12万人の子供たちにワクチンを投与する事 ができました。1979年に35万人いたポリオ発 症者は、2018年10月現在25名になりました。

私も分相応の貢献をしたいと考え、未来に向けた基金を設立しました。ひとつは、宇都宮大学に「飯村チャレンジ基金」を作りました。チャレンジ精神に溢れる学生が学業に専念できるよう支援することを目的とした返済義務のない基金です。もうひとつは、テキサス大学に、アジアの平和基金「飯村平和奨学金」を作りました。東アジアの留学生が対象です。今、東アジアは地政学的に大変不安定ですが、将来、自国で政界又は経済界で活躍できる立場に立った時、日本との懸け橋になってくれることを願い設けました。

【最後に】

私は71歳になりました。新しい人々との響き合う出会いを大切にし、旧来の志を同じくする方々と共に、世のため、人のため、何ができるか、何をすべきか考えながら、これからの余生を過ごしてまいりたいと思います。

集

モーニングセミナー テーマ「発信!とちぎ自慢」 12 月 ーとちぎから世界へ!~ベトナムリース工場の活用~ー



講師:高橋 温 氏

㈱アイ電子工業 代表取締役社長

昭和45年1月24日生まれ

【経 歴】

1993年 東京電機大学 電気工学科卒

1993年 ㈱日立製作所入社

情報システム部門でSE業務従事

2000年 ㈱アイ電子工業入社

2005年 社内ベンチャーとして㈱もったいない設立

代表取締役兼務

2014年 ベトナム DAIKU 社 会長就任

2014年 ㈱アイ電子工業 代表取締役就任 現在に至る

日 時:平成30年12月12日(水)

 $8:00\sim9:00$

会 場:ホテル東日本宇都宮 平安

参加者:46名

【講演要旨】

本日は、当社がベトナムのダナンでリース 工場を運営している関係で、ベトナムを中心 に話をさせていただきたいと思います。

【ベトナムについて】

インドシナ半島東部に位置し、国土は南北に長く、中国、ラオス、カンボジアと国境を接しています。北に首都のハノイ、南にホーチミン、真ん中にダナンがあります。

統計データの人口ピラミッドをみると、ベトナムは若い層が多く、ピラミッドの形をしています。日本は逆ピラミッドになっていて、若い層が減っています。世帯所得は、中間所得層(世帯所得 $5,000\sim34,999$ US\$)の割合が、2000年の10%から、2014年に34%まで上昇、特に、上位の中間所得層($10,000\sim34,999$ US\$)の割合が増加しています。

過去10年間のアジア各国の賃金比較をみると、ベトナムは中国と同等に給与の上昇率が他国と比べて高いため、今後どこまで上昇するかが懸念材料の一つとなっています。

【ダナンという街】

人口は約100万人で、ハノイ、ホーチミン に次いで3番目に多い都市です。美しい海が

あり、近年ビーチリゾートとして人気が出てきています。近くにはホイアン等の世界遺産もあり、観光地としても注目されています。ダナンには、ラオス、タイ、ミャンマーを結ぶ「東西経済回廊」の東の玄関口であるダナン港やベトナム三大空港の一つダナン国際空港があります。現在、高速道路の整備が進み、大規模な工業団地も開発されて、非常に大きな街になりつつあります。去年は、約200社の日系企業が進出していますが、その内、工業系企業は60社で、サービス業や飲食関係企業の進出が増加しています。これは観光地ということに要因があると思っています。

・ミン、真ん中にダナンがあります。 賃金は、管理職やマネージャークラスの月 統計データの人口ピラミッドをみると、ベ 給相場が約5~6万円で、ハノイやホーチミ ナムは若い層が多く、ピラミッドの形をし ンと比べると、比較的安くなっています。

【なぜ ダナンか?】

美しい海があり、田園が栃木県の風景に似ていて心が安らいだこと、これから発展すると感じたことからダナンに進出を決めました。ポイントは、①ベトナム第3の都市のポテンシャル(ベトナム政府もインフラ投資・インセンティブ強化、主要インフラが集約している)、②家賃、土地賃貸価格が安い(ハノイ、ホーチミンの約半分)、③人材が豊富(ハノイ、ホーチミンに比べ、優秀な人材の雇用が容易)、④直行便就航(成田、関空から直行便が就航)、⑤東西経済回廊(ダナン~バンコクが陸路で約3日のロジスティックス)、

⑥風光明媚、⑦純粋な人柄(温和で真面目) ということです。

【当社が目指すサービスの提供】

当社は、2006年にリース工場を始めました。ホアカイン工業団地のリース工場は、日系企業に入居していただいています。居抜きの工場で、家賃は4US\$/㎡からです。2018年現在、入居企業は13社で、従業員数は約1000名となっています。当社のリース工場への入居メリットは、初期投資が少ない、常駐の日本人スタッフによるサポート体制ができている、入居企業同士間で情報共有や業務の連携が図れること等だと思っています。

工場への入居の相談を受けているうちに、 現地と日本の親会社との橋渡しをする人材の 確保についても相談を受けるようになりまし た。そこで、日本語・技能・心を学ぶ場「DAIKU 道場」を2015年に作りました。2016 年からは大学と連携して、インターンシップ 事業を開始しました。

12年間ベトナムでやってきて感じた成功のポイントは、「引き際を最初に決めておく」「信頼できる現地の人材を確保する」ということです。成功している企業は、現地従業員を育成して管理者として使っています。

【外国人の採用】

日本にいる外国人労働者は「技能実習生」「高度人材」「留学生」の3つになります。

実習生の職種は、機械・金属関係や建設関係、農業関係等の作業になります。受け入れる場合、企業単独型か団体監理型になり、団体管理型の場合、実習生の管理費用として、監理団体に毎月5万円の支払いが発生します。実習生は、日本語能力が低く、どのような人材が送られてくるかがわからないこともあり、実習開始後、問題が生じることもあります。

そこで、当社が力を入れているのが、高度 人材の活用です。ダナン大学と連携していま すが、ダナン大学は、ハノイ大学、ホーチミ ン大学に次ぐ上位3位の国立大学です。日本 語学科には、100名/1学年(女性90%)が 在籍しており、日本語や日本文化、ビジネス 習慣を4年間学んでいます。IT学科は、ダ ナン大学で最も偏差値が高く、100名/1学 年(男性80%)が在籍して、技術等の専門の 他、日本語も1年間教えています。 卒業後、日系企業に就職したいという学生が多いのですが、まだまだ就職先が少ないという状況です。また、日本国内への就職を希望している学生も多いのですが、2016年の就職者数は10名でした。企業の皆様に話を伺うと、どんな人材なのかわからないので躊躇してしまうということでした。そこで、先ほどお話ししたインターンシップ制度を導入し、人材を見極めていただけるようにしたのです。企業と学生が、互いのミスマッチを防ぐためにもとても良い制度だと思います。

日本語学科卒人材の特徴は、高い日本語能力を持っていることです。だから、実習生と企業担当者との橋渡し役である「ブリッジパーソン」として活用することで、実習生と企業は、良い関係を築けるのではないかと思います。また、ブリッジパーソンを育成することで、将来ベトナムに展開する時に活躍してもらう等、十分な価値があると考えています。

実は、企業側からは、即戦力となる人材が 欲しいという話もあります。多くの留学生や 高度人材が来日して働いていますが、転職者 も多くなってきているため、人材バンクと提 携して、お客さまのニーズに合わせた人材の 紹介もしております。

実習生、高度人材、留学生の1名あたりの費用を比較すると、高度人材や留学生は、当社の場合、紹介手数料として年収の30%程度を頂いているので、初期費用が実習生より高くなります。しかし、監理団体からの実習生は毎月5万円の管理費の支払いがあるので、最終的には実習生の方が高くなることもあります。だから、どのような人材が必要なのか、検討していただければと思います。

【最後に】

当社は、ダナンで12年間、地に足を着け、リース工場を運営しております。当社がご紹介した人材で辞めた者は一人もおらず、企業様と本人の両方から好評をいただいています。業種・業態により採用パターンは様々ですので、どのような人材が必要かをまずはご相談ください。地の利、人脈を生かし、優秀な人材を責任もってご紹介させていただきます。

まずは、ダナンにお越しいただき、ダナンを見て、感じてください。ご案内させていただきます。

社会問題委員会第2回委員会「栃木市視察」

委員長 上野勝弘(上陽工業㈱代表取締役)

日 時:平成30年10月3日(水)

場所:栃木市役所、日光珈琲「蔵ノ街」

参加者:17名

「空き家問題対策~空き家の利活用方策について~」をテーマに調査研究を進めている当委員会では、県内先進市である栃木市の取組みや実績効果の検証をするために第2回委員会「栃木市視察」を行った。



※市役所会議室にて

第1部:栃木市住宅課講話 講 師:大野課長、荻原主事

1. 空き家問題の現状

- 栃木市は空き家2,007軒、空き家率13.1% (全国は空き家820万軒、空き家率13.5%)。
- ・栃木市は持ち家率が81.4%と非常に高い (全国61.7%)。高齢者世帯の持ち家率は 90.7%(全国76.5%)に上る⇒空き家予 備軍になる住宅が多く、今後爆発的に空 き家が増加していく可能性が大きい。
- ・住宅課(H27.4 設立)で、空き家対策 及び移住・定住促進をワンストップ窓口 で行っている事で事業の連携が強化され 功を奏している。
- ・税金がかかる負の遺産である空き家は所 有者の悩みであり、どうにかして手放し たい場合⇒空き家バンク登録へ。

2. 空き家バンクの取組み

・空き家バンクサイトのレイアウトを改善。新 規物件登録時に一斉メールする機能あり。

- ・有料のバナー広告を活用し、広告料で運 営費を賄っている。
- ・実績として成約軒数(売買及び賃貸)の累計は170軒以上に上る。解体すると1軒平均124万円かかるものが1軒平均約770万円で売れており、11億3千万円の経済効果あり。負の遺産から富の遺産へと変わる。



3. 住体験施設

(1) 「蔵の街やどかりの家 |

- ・県庁堀沿いにある空き家を活用。
- ・移住体験施設を 2 ヶ月(費用 2 百万円) で整備し、平成28年 4 月に開所。利用 料は1泊2千円、1ヶ月3万円。開所 2年半で66組170名が利用。5 組14名 が実際に移住した。

(2) 「IJUテラス蔵人館 |

- ・移住体験施設第2号が平成30年4月に 開所。
- ・築161年の蔵を、カフェ(日光珈琲) とのコラボで実現。蔵の街大通り沿い で、日本建築を肌で感じる暮らしを体 験できる。(下の写真)



4. 先進的取組事例(モデル事業)

- ・昨年度と今年度、国土交通省の先駆的空 き家対策モデル事業に採択されている。
- ・昨年度は、自治会と連携した事業展開を

行った。44自治会が参加し、空き家物件 発生の際に、いち早く空き家情報を市へ 登録してもらい、空き家バンク等の活用 のラインに乗せることにより、早期発見 早期活用に繋げる。

・今年度は、空き家を使ってDIYでのリフォームするイベントや民泊施設運営の 意思がある所有者等へ講座を行う予定。

5. 独自の取組事例

「空き家解体費補助 |

- ・倒壊の恐れや老朽化が進行した空き家 を解体する場合に最大50万円補助。
- ・当時、空き家解体は持ち主の責任という風潮の中チャレンジしたところ市民 の方が殺到し思わぬ効果を生んだ。

「通勤者特急券購入費補助制度:楽賃」

- ・東武鉄道を利用して都内へ通勤する市 民が対象で、1ヶ月当たり最大1万円 補助。
- ・経済的負担と通勤時間短縮のため特急券 代を補助。平成29年10月1日から開始。

「まちなか定住補助金 |

・定住目的で市外からの転入する方で住宅を取得する場合に最大100万円補助する IJU補助金や、市内の方でも住み替え補助金として最大30万円補助する。

6. 取組効果や課題

- ・平成24年度以降、社会増傾向が続いてお り、平成29年度は561名増の実績。
- ・宝島社の「住みたい田舎ベストランキング」若者世代部門2年連続全国第1位。



※「蔵の街やどかりの家」にて

今後も続く人口減少問題や財政縮減の中、 どう対応を継続していくかが課題。

第2部:日光珈琲蔵ノ街講話

講師:風間社長예風間総合サービス

1. 栃木市への出店経緯

- ・江戸時代からの建物で、既存店舗がある 例幣使街道の繋がりからも、栃木市から 出店のお誘いをいただいた時にご縁を感 じた。
- ・耐震等の改修部分は、栃木市でしっかり やっていただいた。
- ・移住体験施設と隣接しているので、外から栃木市へ来ていただいた方のフロントとしての役割もコンセプトとして目指している。



2. 現在~今後の展望

- ・先日、フードメニューも始めグランドオー プンしたばかりで、地元の方を店長に抜擢 し、従業員教育もこれからと言ったところ。
- ・今後、隣接する公園を使って、鹿沼でやっていたマルシェ等も行い、地域を盛り上げていきたい。
- ・現在、京都での出店計画も進んでいる。



※「日光珈琲蔵ノ街」にて

第4回 新潟・栃木・埼玉・群馬 4経済同友会交流会

日 時:平成30年10月4日休

場所:群馬県

参加者:栃木県経済同友会 14名

埼玉経済同友会 15名

群馬経済同友会 34名

新潟経済同友会 19名

群馬県知事、高崎市長他

交流の場を設け、活動情報の共有や交流を深 めることにより各地の経済同友会の発展に寄 与することを目的に開催するもので、平成27 年度に第1回の交流会が新潟県で開催されて 以降、本県、埼玉県で開催され、第4回とな る今回は群馬県で開催された。

◆スケジュール

視察①「中島知久平邸 |⇒昼食「スバル ビ ジターセンター(荻野屋 峠の釜めし、ガトー フェスタハラダのラスク)」⇒視察②「㈱SU BARU 矢島工場 |⇒懇談会「講演、各地同 友会活動発表」⇒懇親会

《視察①:中島知久平邸》

中島飛行機製作所の創始者である中島知久 平が両親のために築いた、敷地面積10,000㎡ を超える大規模な邸宅(国指定重要文化財) を視察した。

築地塀に囲まれた敷地内には主屋、正門、 門衛所、土蔵、氏神社等が配され、主屋南側 には3,000㎡にのぼる平坦な庭が広がっていた。



《視察②:㈱SUBARU 矢島工場》

スバルビジターセンターでは、SUBARU が初めて販売したスバル360から造り続けて きた代表的な車やモーターショーのコンセプ トモデル等を見学した。

また、専用の電気自動車に乗って矢島工場 内の最終組立工場等を回り、SUBARU車 の出来るまでを視察した後、SUBARU 4経済同友会交流会は、経済同友会相互の (群馬製作所、矢島工場)の概要や地域との 共生について話を伺った。



《懇談会》

【第1部】講演

『藩営 前橋製糸所・富岡製糸場からSU BARU ものづくり県 群馬の魅力と地 域創生』

講 師:前橋市 前橋学センター長

手島 仁

[はじめに]-日本一の郷土かるた「上毛かるた」

- ① 誕生の意図
- ② 発案者 牧師:須田清基
- ③ GHQの検閲
- ④ 須田清基の上州人観
- 1. 軽工業:製糸業の革命
 - (1) 上毛かるた「日本で最初の 富岡製糸」 は間違い
 - (2) 藩営前橋製糸所の誕生
 - (3) 藩営前橋製糸所の意義
 - (4) 官営富岡製糸場との関係

- (5) 戊辰戦争との関係
- (6) 速水堅曹
- 2. 重工業:飛行機製造業の革命
 - (1) 中島知久平
 - (2) 飛行機王から政界へ
 - (3) 民間初のシンクタンクを創設

「まとめ〕

- ○群馬県から「ものづくり(軽工業・重工 業)の革命」を起こした速水堅曹、中島 知久平は「国家国民のため」に起業。
- ○群馬・新潟・栃木・埼玉は縁の深い生活・ 経済圏
- ○遠隔地の志と絆こそ地方創生。「地方に こそ日本がある」。



【第2部】各経済同友会発表

- 1. 新潟経済同友会
 - (1) 2030年までに目指す新潟県のすがた (提言の骨子)
 - (2) 地方創生の取組みについて
 - (3) 第32回全国経済同友会セミナー新潟大会
- 2. 栃木県経済同友会
 - (1) 第31回全国経済同友会セミナー栃木大会
 - (2) 創立30周年記念式典・コンサート・パー ティー
 - (3) 創立30周年記念サマーセミナー
 - (4) 委員会·研究会活動
- 3. 埼玉経済同友会
 - (1) 2018年度の委員会・部会活動報告
- 4. 群馬経済同友会
 - (1) 平成29年度の主な活動報告
 - (2) 平成30年度の主な活動テーマ



《懇親会》

群馬交響楽団による演奏(弦楽四重奏)が 行われた後、ご当地キャラクターのぐんまちゃ んがスペシャルゲストとして登場し、場を盛 り上げた。

群馬県の大澤正明知事の来賓挨拶、高崎市の富岡賢治市長による乾杯で開会し、終始和やかな雰囲気で懇親会が行われた。





来年度の開催予定地である新潟経済同友会 筆頭代表幹事の山本善政氏の中締めにより、 懇親会は盛会のうちに終了した。

社会貢献活動推進委員会 第2回委員会「沖縄視察」

期 日:平成30年10月18日(木)~20日(土)

視察先:沖縄県教育庁県立学校教育課

沖縄県商工労働部雇用政策課

一般社団法人

沖縄キャリア教育支援企業ネットワーク 株式会社ケイオーパートナーズ

参加者: 3名

「栃木県の次世代を担う人財の育成~キャ リア教育への支援~」をテーマとして活動し ている当委員会では、沖縄県にて就業意識の 向上の観点からの「キャリア教育」の先進的 な取組を視察した。

【視察先1】沖縄県教育庁県立学校教育課

沖縄県では、高校卒業時の進路未決定率、 高卒就職者の離職率が高いことから、この課 題を改善し進路決定率を向上させるための取 組を行っている。



・インターンシップ推進事業

『全ての全日制高校生が在学中に一度は 3日以上の就業体験をすること』を施策に 掲げ、高校生に豊かな人間性や社会性、望 ましい勤労観・職業観を育み、職業人とし ての基本的なマナーや異世代とのコミュニ この事業を実施している。

円滑な就業体験が実施できるよう㈱ケイ オーパートナーズへ事業を委託。インター ンシップの受入事業所の開拓、関係機関 (事業所・学校・教育庁等)との連絡調整、 就業体験に関する情報。資料等の収集、整 理、提供アンケートの分析等を行っている。 この事業により、平成29年度は全ての高 等学校においてインターンシップを実施し ている。

・キャリア教育支援事業

キャリア教育に関して活動実績のある団 体やキャリア教育の支援を行う専門家であ るキャリア教育コーディネーターを活用し、 県立高等学校におけるキャリア教育の取組 の推進を図り、生徒一人ひとりの主体的な 進路選択、自己実現の向上、教員のキャリ ア教育実践力の向上を図っている。

指定校にキャリア教育コーディネーター を配置し、授業改善の研究・地域課題解決 への取組を行い、生徒に社会とのつながり を意識させ、キャリア教育の視点で学校で の学びの意義づけを図っている。

また、教員への様々な研修会を実施。学 校現場における実践取組の普及・推進とと もに、キャリア教育への理解の啓発、実践 力の向上への取り組みを行っている。

【視察先2】沖縄県商工労働部雇用政策課

地域ニーズに即した産学官連携による就業 意識の向上への取組を推進。また、児童・生徒 達に県内の主たる産業への理解を促進し、早 期からの興味関心を育て、雇用のミスマッチ等の 課題を抱える産業分野に、産業界と学校現場 ケーション能力の育成を図ることを目的にをつなぐコーディネーターの配置を行っている。



未来の産業人材育成事業

産業界と小中学校をつなぐコーディネーターを配置し、未来の産業人材を育成し、雇用に課題を抱える分野等に人材の輩出を図ることや、小中学校教員や保護者などに対し講話等を実施し、小中学生の進路に影響を与える周囲への産業理解やキャリア教育の推進を図ることを目的に事業を実施している。

この事業では、県経済における重点産業であり、人材不足及び後継者育成が共通の課題となっている観光リゾート産業、情報通信産業、建設産業、福祉産業、医療産業、文化産業、物流・流通産業の7産業を選定し、各産業団体、事業所と連携を図りながら、カリキュラムの構築や産業理解を促すプログラムを実施している。

また、コーディネーターを活用し、産業の現状や産業が目指す今後の方向性及び、人材育成・確保における情報等を収集し、これらの情報を基に教育的視点を持ちながら、産業界と教育現場の双方を繋げ、両者が連携して人材育成を行う仕組みの構築を目指している。

・沖縄型産学官・地域連携グッジョブ事業

「キャリア教育の効果的な推進、目的の 達成のためには、幅広い関係者の連携が必 要である」という視点にたち、地域におけ るキャリア教育の充実を促進し、特に児童 生徒の就業意識向上を図るための産学官・ 地域連携の仕組み作りを構築するため、地域における産学官・地域連携協議会などの設置の促進、取り組む地域への支援を行っている。

事業は、地域独自の就業意識向上の取組 を実施する産学官・地域連携協議会に経費 を補助する地域型就業意識向上支援事業と、 地域連携協議会等への側面支援及び本事業 に係る補完的業務を担う地域連携プラット フォーム事業がある。補助事業では、補助 期間は最長3年間で、1年目は全額、2年 目は9割、3年目は8割の補助金が支給さ れる。

また、地域連携プラットフォーム事業は (株ケイオーパートナーズに委託し、既存協 議会等に対する側面支援や未設置地区に対 する立上げ支援の実施、協議会間の連携強 化及び配置されたコーディネーターの人材 育成等を支援している。

【視察先3】一般社団法人沖縄キャリア教育 支援企業ネットワーク

沖縄の全ての子どもたちが将来に対して希望を持ち「チャレンジ」していく環境づくりを目指し、企業が強みを生かし、分野を超えて連携し「キャリア教育」を通じて学校や地域社会に貢献することで沖縄の未来の経済成長を促すことを目的に、社会人講話、11月23日を『キャリア教育の日ッ』としてのキャリア教育推進活動などを行っている。



業人が、社会には様々な職業があることやそ の仕事が社会を支えていることなど、きちん とした情報をキャリア教育を通して伝え、人 材確保の環境をつくる企業主体型キャリア教 育の仕組みづくりを実践。会員向け勉強会、 キャリア教育授業プログラム作成ワークショッ プなど企業人のキャリア教育への理解啓発、 教科書を活用した授業プログラムの作成等を 行い、講話実践力の向上を図っている。

また、活動をする上で教員や学校のことを 理解し、かつ企業の事も理解できるキャリア 教育コーディネーターの存在が重要であると 考え、添石氏自らキャリア教育コーディネー ターの資格を取得。

さらに、教員と企業の交流・情報交換会、 産学官連携会議、有識者会議の実施など、様々 な機関との連携や教育行政・教員の理解啓発 に努めている。



【視察先4】㈱ケイオーパートナーズ

キャリア教育の仕組みづくりを県の事業と して長期にわたり取り組んでいる。

沖縄県での雇用情勢が厳しい現状を改善す るためには県民主体型のキャリア教育を進め ていくことが課題解決につながると考え、平 成19年から県民主体型のキャリア教育を進め、 地域で人材が還流していく地域連携型キャリ ア教育の仕組みを構築。現在沖縄県内41市町 動に活かしていきたい。

代表の添石氏は、キャリア教育を生きる力 村のうち、25市町村で仕組みを構築し、産学 の育成であると捉え、全ての子どもたちに企 官連携協議会を各所に設置。実施状況、企業・ 児童・生徒へのアンケートを数値化し、実践 内容とともに報告書としてまとめている。



また、産業を担う担い手を早期から育成し ていくことが地域の活性化につながり、県全 体の活性化になると提言し、学校から社会へ の円滑な移行につなげるべく、「未来の産業 人育成事業」(沖縄県事業)を開始。現在、 県の事業として「インターンシップ推進事業」 「未来の産業人材育成事業 | 「地域連携プラッ トフォーム事業」を受託している。

それぞれの事業の中では、キャリア教育を 早期からの長期的な産業人育成と捉えるべく、 企業に向けて、キャリア教育への理解を深め、 教育に位置づけた産業理解のプログラムの作 成等をキャリア教育コーディネーターを活用 し行っている。



視察を通じて、キャリア教育について学べ たことは大変有意義であり、今後の委員会活

国際化推進委員会 第2回委員会「ベトナム・ダナン視察」

| 委員長 | 益子 | 博美 (㈱花のギフト社 | 代表取締役社長)

日 時:平成30年10月21日(日)~24日(水)

視察先: GOCHIPAN

(株式会社パン・アキモト)

DAIKU-JV

(株式会社アイ電子工業)

ダナン大学

参加人数:10名

国際化推進委員会では「グローバル人財の ○ベトナムに出店を決めた理由 育成~国際感覚あふれる人づくりから地元定 着の仕組みづくりまで~」をテーマに調査研 究をしている。グローバル人財の効果的な育 成方法及び就職支援方法を学ぶため、第2回 国際化推進委員会「ベトナム・ダナン視察」 を実施した。現地進出企業や、ベトナム人学 ○出店時に工夫していること 生との交流を通して、今後の委員会活動に向 け多くのヒントを得ることができた。

【視察先 1 】GOCHIPAN(㈱パン・アキモト) ~ベトナムに進出している日系企業の

成功の秘訣を探る~



数年間の保存が可能な「パンの缶詰」を生 み出した那須塩原市にある有名ベーカリー、 (株)パン・アキモトは2015年、海外1号店とし てベトナム・ダナンに進出した。

店名の GOCHIPAN (ゴチパン=「ごちそ うさま | と「パン | を組み合わせた造語) に ○今後のビジネス展開について 表れているように、日本式の味やサービスに こだわり、安心・安全・おもてなしを世界に 発信している。



ベトナム人の技能実習生を日本国内店舗 で受け入れたことがきっかけ。実習期間を 終えた後の母国での就職先(実習生が将来、 母国で独立するためのモデル店)として、 出店することを思いつき、実行した。

ベトナム人は、転職に対するハードルが 日本人よりはるかに低い。(可能な限り) 長く営業してもらえるよう、親族皆で店舗 を経営できる位の比較的小規模での出店を 心がけている。

○客 層

(視察した2号店は)韓国人が多く住む 地区であるため韓国人客が多く、各国から の観光客も多いが、現地に住むベトナム人 にも手が出せない価格設定ではないので、 ベトナム人も来店する。

○販売しているパンの特徴

日本のパン、日本の文化を広めようとい う思いで出店しているので、ベトナム人好 みのパンを目指している訳ではない。しか し、飽きられないように常に改善を繰り返 している。これも日本らしい思考(文化) かもしれない。

ベトナム国内でのフランチャイズ店展開 を考えている。



【視察先2】DAIKU-JV(㈱アイ電子工業) ~ベトナム人材の採用を検討している 日系企業への支援体制を知る~



電子機器製造や人材派遣を手掛ける大田原 市の㈱アイ電子工業は、ベトナム・国立ダナ ン大学の学生を日本国内の企業に仲介する事 業を行っている。

また、アイ電子工業は10年以上前から、ダ ナン市で現地に進出した日系企業向けのリー ス工場を運営しており、現地の行政や大学の 事情にも詳しい。そのノウハウを活かし、現 地資本との合弁会社 DAIKU-JV が就労の 仲介も手掛けている。本視察では実際に工業 団地 DAIKU-JV を案内していただいた。

(こちらの外国人就労支援ビジネスの詳細に ついては、12月実施のモーニングセミナー 【P.45】に掲載している。)

【視察先3】ダナン大学

~ベトナム人材とその採用を検討している ○ ダナン大学について 日系企業とのマッチング方法を学ぶ~ ダナン大学は、ベトナム・ダナン市に位置

する総合大学。充実した設備と、豊かな自然 に囲まれた環境を誇るダナン大学は、ベトナ ムをリードするトップ5の大学の一つに数え られている。ダナン大学の卒業生たちの多く が専門家として、ベトナム国内の学術、経済、 教育などの発展を支えている。日本語学科は 1学年に約100名が在籍しており、うち女性 が8~9割を占めている。日本の大学生との 交流会・ホームステイなども頻繁に実施され ている。

【3-1】ダナン大学 日本語学科授業参加 及び学生との意見交換



ダナン大学日本語学科の2年生の授業に実 際に参加した。3人1組(同友会側1名、大 学生2名)で、意見交換および授業のテーマ の「お礼を言う」について発表をした。

【3-2】ダナン大学研究・国際部部長 NGUYEN THI NHU Y(グエン・ ティ・ニューイー) との意見交換



• 日本語に興味があるベトナム人の中では、 ダナン大学は人気。国立大学かつ現時点 Bo.

・就職支援を行う窓口はない。(日本語学 科の生徒は卒業後100%就職しており、 学生も就職活動に全く苦労しないため。)

○日本語学科生の就職先について

- ・日本語学科の生徒は、管理職候補や通訳 としての需要が多い。
- 日本企業の中で、ベトナム人に人気の企 業の条件は、特になし。学生の個性によ るが近年IT企業が増えている。

○日本での就職について

- ・毎年10名程は日本で(日本企業に)就職 するが、総生徒数から考えると少ない。
- ・日本の在留資格申請は難しいが、高度人 材としてなら難易度は下がるためネック ではない。

○日本が人気である理由

- ・日本の文化 (アニメや食事) が人気のた め、日本語学科も人気。子供のころから 慣れ親しんでいるため、馴染みがある。
- ・外国語学科の中でも日本語学科は人気学 科だが、近年、韓国語学科と中国語学科 の人気も高まっている。K-POP等、 韓国文化の人気も高まっているように感 じる。

○日本への留学制度について

日本のいくつかの大学との協定があり、 短期留学の仕組みがある。この協定に基 づき、年間10名程度は交換留学の形で (学費免除で)日本に留学している。



- では様々な大学ランキング上も上位のた ○ダナン大学生をインターンシップ生として 日本企業に受け入れる場合
 - ・期間は3ヶ月から1年程度。その間、学 生は休学手続きをして参加する。
 - ・企業側は学生に対して、渡航費、日常生 活費(食費等)、光熱費、最低賃金の給 料を支払う。
 - ○卒業後、管理職候補として企業に採用され る学生が多いなか、大学として工夫してい ること
 - 授業内容として、マネジメントは教えて いない。
 - ・外部団体が実施している特別講座で、日 本のビジネスマナーやビジネス知識等 (ex:報・連・相)を簡単に学べる講座 を積極的に案内している。

○ベトナム人およびダナン大学生の特徴

- (過去にフランス占領時代もあったが) ベトナム人はフランス人に対して違和感 を抱いていない。協調性はベトナム人の 国民性ともいえるだろう。
- ダナン大学に通う大学生は、アルバイト をしている学生が多い。お金を稼ぐため というよりは、自身の経験のため。意識 が高い。

【3-3】日本語学科教師およびダナン大学 生との意見交換



ベトナムで獲れた海産物を使ったベトナム 風海鮮料理を囲みながら、日本語学科教師1 名と大学生5名と忌憚なく様々な意見を交換 した。

栃木交流研究会 第1回視察「那須塩原市方面」

栃木交流研究会 会長 大曲圭一郎(大成建設㈱ 関東支店 宇都宮営業所長)

日 時:平成30年10月26日 金~27日 生

視察先:「ハンターマウンテン塩原」

「湯宿 梅川荘」他

当研究会は「栃木の歴史と文化に触れる」 を活動テーマに、栃木県内の名所・旧跡、施 設等の視察を行い、栃木の魅力を県内外に発 信するために調査研究活動をしている。

〔1日目〕ハンターマウンテン塩原 湯宿 梅川荘

栃木交流研究会会員 8 名が参加した。視察 1 日目は、ハンターマウンテン塩原の10月から 1 ヶ月間だけ体験できる「紅葉ゴンドラ」で標高約1,643 m まで登った。曇っていて紅葉が見えなかったが、会員同士で会話しながらの軽いトレッキングは親睦を深めることが出来た。



宿泊先となる「湯宿 梅川荘」は、塩原温 泉街から少し離れた高台に位置し、落ち着い た雰囲気で宿から眺める景観が見事であった。

到着後、若色社長にお話いただいた。若色 社長は、佐賀県出身で大学卒業後は横浜で10 年間住宅メーカーの営業職で働いていたが、 結婚を機に奥様の実家である温泉旅館を継ぐ ために那須塩原市へ移住。 I ターンして、よ そ者が奮闘する様々な塩原温泉郷の観光振興 の取組みなどから交流人口・定住拡大のヒン トを学んだ。

「大学卒業後、横浜で営業をしておりました。休日も仕事をしていることが多く仕事漬けの日々で肉体的に疲れ切っていました。そんな中、妻の実家である温泉旅館に泊まって、温泉に入り綺麗な空気を吸ってすごく感動しました。こんな生活いいなあと。自然や人の温かさに魅了されて結婚を決意し移住に至りました。



佐賀にいる両親の事が心配で、何か起きてもすぐに飛んで帰ってあげられない距離なのでしっかり考えました。前職では仕事も順調だったので周りの人にも転職することを止められたり。旅館業を自分に出来るのか不安もありました。

那須塩原は、温泉も自然も素晴らしく、食べ物が美味しいです。お肉、野菜、お米。旅館業の若旦那たちの受入れも温かかったです。今年の春に那須塩原市内で「いちごとみるくフェア」を共同で開催し、67の参画施設(宿泊施設、飲食店、販売店等)でいちごとみるくを使ったオリジナルデザートを提供しました。

移住して慣れなかった部分としては、寒さと栃木弁です。地元のおばあちゃんが話している言葉が分からなかったのですが、今はわかるようになりました。色々な方にお世話になり、自然に救われたり、今後は出来る範囲

で那須塩原市に恩返ししていきたいと思っています。」

夕食は、地元の食材を使ったお料理でどれ も美味しく特に一人一人釜で炊いてただいた ご飯がとても美味しくみなさんとても感激し ていた。朝食の卵かけご飯も美味しくいただ いた。



〔2日目〕旧青木家那須別邸 他

予定していた那須での里山サイクリングがあいにくの天候で中止となってしまった。急遽、予定を変更して今年日本遺産に認定された那須野が原に残る明治期の別邸「旧青木家那須別邸」と現代美術家・奈良美智氏の美術館「N's YARD」に伺った。

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を 通じて文化・伝統を語るストーリーを文化庁 が認定する制度である。旧青木家那須別邸を はじめとした那須野が原に残る明治期の別邸 などの文化財によるストーリー「明治貴族が 描いた未来~那須野が原開拓漫譚~」が平成 30年度に認定された。また、世界的に有名な 現代美術家・奈良美智氏の美術館は、この旧 青木家那須別邸のすぐ裏手の森の中に佇んで いる。青森県出身の奈良氏は、ニューヨーク 近代美術館やロサンゼルス美術館等に作品が 所蔵されており、2005年から那須塩原に活動 の拠点を移し創作をしている。2017年にこの 美術館をオープン。未発表の作品や奈良氏の 持つ他の作家のコレクションなどが展示され ている。



奈良美智 美術館 N's YARD

急遽、予定を変更して 訪れた場所は、会員のみ なさんも初めて知る場所 でもあったようで、特に 美術館では家族にお土産 を買ったり、外観の写真 をたくさん撮っていたり 満足していただけた。



既存商店街がリノベーションで活性化している黒磯の高砂町に移動し、「ゲストハウスChus」で昼食を取った。東京都内から移住してきた宮本吾一代表は、元々家具屋さんであった場所をリノベーションして1階部分でマルシェを運営開始。その後、クラウドファンディングで資金調達し、2階、3階部分にゲストハウスをオープンした。



2日間にわたる「那須塩原市方面」の視察は、天候には恵まれなかったが、 I ターンで地域に溶け込み活躍されている方の事例を体感する視察となった。 県外出身の参加者同士の親睦も深めることが出来、新たな栃木を知ってもらうことが出来た。

2018年度全国経済同友会代表幹事円卓会議(米子)



日 時:平成30年11月12日(月)

13:30~18:30

場所:米子市

参加者:各地代表幹事他118名

2018年度の「全国経済同友会代表幹事円卓 圏域活性化に向けた取会議」が鳥取県米子市のANAクラウンプラ り組み」と題して、米ザホテル米子で開催された。 子市長の伊木降司氏が





会議では、(公社)経済同友会の小林代表 幹事、鳥取県経済同友会の松村代表幹事の挨 拶の後、全国経済同友会セミナーの場所等の 議事について協議がなされた。小林筆頭代表

理事が、今年行われた第31回全国経済同友会セミナー栃木大会の収支報告を行い、満場一致で承認された。

また、第32回新



潟大会の企画案(総合テーマや基調講演内容、 分科会テーマ、プログラム・エクスカーショ ン等)や第34回熊本大会の日程案等が承認さ れた。

◆第32回全国経済同友会セミナー(新潟大会)

日 程:2019年4月11日(木)、12日(金) テーマ:「新時代へのイノベーション

~ポスト平成の成長戦略を描く~ |

会議の報告では、福岡、愛媛、静岡(東部)、 岐阜、福井、仙台、北海道から「各地経済同 友会による地方創生・地方活性化の取り組み について」報告がなされた。

議事・報告の後は、「中海・宍道湖・大山 圏域活性化に向けた取り組み」と題して、米 子市長の伊木隆司氏が 来賓講演を行った。そ の後、鳥取県知事の平 井伸治氏が挨拶と鳥取 県の観光PRを行った。



会議終了後の懇親パーティーでは、各県の 代表幹事をはじめ、他県の経済同友会の方々 と多くの情報交換ができ、非常に有意義な会 議となった。



仙台経済同友会の大山代表幹事と握手をする小林 筆頭代表理事

産業政策委員会 第1回委員会

委員長 野田 和郎

(㈱ハヤブサホールディングス 代表取締役)

日 時:平成30年11月30日金

 $15:30\sim17:40$

会場:表参道スクエア6階 多目的ホール2

参加人数:28名

産業政策委員会では、「栃木版 働き方改 革~人財確保と生産性向上の両立を目指し て~」をテーマに調査・研究を進めており、 今後、自治体の人材確保における民間支援策 に焦点を当てることを確認し、栃木県の現状 把握の為、お二方の御講話、その後グループ ディスカッションを行った。

【第1部】

○野田委員長挨拶

今後の委員会の方向性 について決意表明及び視 察等の参加依頼を行った。

【第2部】

○県内事例講話1

栃木県産業労働観光部 次長兼労働政策課長

鈴木氏

- ・栃木県人口ピークは13 年前。生産年齢人口は、2015年 約100万 (1) Aグループ 主な意見 人⇒2060年 約50万人。
- ・県内総生産の40%が製造業。(全国平均では 製造業21%) 滋賀県に続く第2位の製造県。
- ・一人当たり県民所得が2年連続全国第4位。 (H26、H27) 分母が県民人口なので、地 方の方が増加しやすい傾向。所得総量の増 加と人口減少に注意しなければならない。
- I o T等第 4 次産業革命の推進⇒H30.9 から「栃木県IoT推進ラボーを設立し、 ベンダー及びユーザー両面で推進加速させ る。業種は、農業・林業・建設業他。
- ・働き方改革は、セミナー・相談会・個別診断 ・上記イメージを払拭し、女性をいかに栃木

等、女性活躍では「えるぼし」認定増加策 等で推進。

・人材確保策は、現在首都圏の大学105校と 就職促進協定を締結している。またとちぎ 未来人材応援事業として、県内製造業に就 職する大学生に対し奨学金返還に係る助成 制度を設置。

【第3部】

○県内先進事例講話 2 栃木県働き方改革推進 支援センター長 柳氏



- ・2019年4月から順次、 働き方改革関連法案が施行。まずは時間外 労働の上限規制。
- ・年次有給休暇も確実な取得として、毎年5 日、時季を指定して与える必要がある。
- ・月60時間を超える残業は、割増賃金率25% ⇒50%へ。(中小企業)
- ・同一労働同一賃金では、不合理な待遇差を無く す為、均衡待遇規定と均等待遇規定がある。
- ・センターは、厚労省受託事業として、全国 都道府県に設置。県内支援状況としては、 今年度訪問指導120件。毎月増加傾向。労 働時間についての相談が53%。製造業が45 %を占める。

【第4部】

○グループディスカッション

- - ・栃木県の30~40代の男女比率が、男:女= 1.6:1であり、男性県。女性は県外に 進学すると戻ってこない傾向がある。い くら県を良くしようとも少子化が加速し 疲弊していく。
 - ・製造県である栃木県は男性主体の印象が ある。栃木県≒製造業≒男性を変えなけ ればならない。製造業でも色々な職種が あり数は少ないが女性が働いている。そ ういった輝く女性をメディアで更に発信 を強化するのも良い。

に戻すかという事で、例えば栃木の良さと 女性をテーマに、「リケジョ」をクローズアッ プ。「リケジョ」が働く工業団地や企業を 標榜できるようにイメージ戦略を強化する。

- ・栃木県はPRが下手なので、栃木県民で すら伝わってないところがある。小さい 世代からPRし、栃木県には女性の働く 場所がある等郷土愛醸成に繋がるよう、 上手なPRが必要。
- ・例えば、女性に人気のある職種(事務職等)で地元就職枠を創設してみては。



(2) Bグループ 主な意見

- ・働き方改革法案は分かりづらく、企業側 に実行責任があり、破った場合は罰則と いう法律。
- ・この法律を実行すれば、生産性が上がる 施策であることが明確になっていない。
- ・企業側から福利厚生の充実等の労働環境 整備を行っているだけでなく、社員側か ら積極的に意見を吸い上げ、組み込んで 実施している。
- ・特に中小零細企業にとって、本当の意味 で働き方改革を理解するには、経営者と 社員とできちんと議論をして、実際に自 分たちの働き方をどうするか詰める必要 がある。一概に法律に従えばいいという 単純なものではない。(行政への要望等)
- ・技能実習生を受け入れている経営者から、 受入後の書類作成が多く煩雑でコストが かかっているのが現状。そう言った事務 手続き等のコストが下がれば、更に技能 実習生の給与に回せるのではないか。ま た残業が無くなると魅力が無くなり外国 人労働者が集まらなくなるのではないか。

- ・行政がそもそも何故、働き方改革と言っているか明確になっているだろうか。本当は国のコストが嵩んでおり、その対策として生産性向上させるために働き方改革と言っているのではないか。
- ・まとめると、働き方改革は良いことばかり ではないとの認識のもと進める必要がある。



(3) Cグループ 主な意見

- ・働き方改革で職場環境整備しようとして も、そこまで余裕がある企業ばかりでは ない。
- ・行政は働き方改革を推進せよと言う一方、 大量の資料を明日までに期限厳守で提出 してくれとの難題を言う場合があり、企 業としてトレードオフな事を言われ困っ ている。
- ・AI及びIoTでいくら生産性向上して も、外国人労働者を受入れないと間に合 わない。
- ・時間外労働時間枠に休日出勤も組み込む といった厳格化が進み、今後雇用契約の 限界が到来し、業務委託契約(雇用者の 個人事業主化)に移行する事例が増加す る懸念がある。
- ・働き方改革で社員の余暇を作っても過ご し方が分からないのが現状。無駄に過ご さず能力を高める為の人材教育が必要。 社員の生き方改革ではないか。



栃木交流研究会 第2回視察 「パナソニック㈱宇都宮工場、大谷方面」

栃木交流研究会長 大曲圭一郎 (大成建設㈱関東支店 宇都宮営業所 所長)

開催日:平成30年12月4日(火)

視察先:宇都宮市内

・「パナソニック㈱宇都宮工場」

• 「大谷アンダーグラウンド」

参加人数:19名

栃木交流研究会では「栃木の歴史と文化に触れる」をテーマに、栃木県内の名所・旧跡・施設等の視察を行い、栃木の魅力を県内外に発信するために活動している。

パナソニック㈱宇都宮工場

パナソニック㈱宇都宮工場は、昭和42年に 創設。ブラウン管時代から同社のテレビ生産 を一貫して担い、テレビ生産50年の歴史を持 つ工場である。平成29年より有機ELテレビ の生産が開始された。他にもテクニクスの製 品等も製造しており、音質にもこだわった高 品質の製品を生産している。工場内では2班 に分かれて見学した。

2008年から展開している育成プログラム「モノづくり道場」は、座学とさまざまな実技研修を行っており、これをクリアしないと実際の製造ラインに立てない仕組みとなっている。上級者は黒帯、その上には赤帯があり、技能レベルが段階ごとに評価される。赤帯を獲得したスタッフは「匠」の称号を得る制度が設けられている。これらが人材のスキルアップと生産品質の向上に結びつけていると感じた。





OHYA UNDERGROUND(宇都宮市大谷地区)

午後は、今年5月に大谷石採掘の歴史が日本遺産に認定された宇都宮市大谷地区に移動し、大谷地底湖クルーズと里山ハイキングを体験した。大谷石の採石場が放置され負の遺産と言われた大谷が地域資源として見直され、現在は観光で人を呼び込んで注目される地域と変化していった様子をガイドの方に伺いながらのツアーとなった。

かつて採石場で働く人で賑わっていたという面影はなかったが、ラフティングボートに 乗り込むと暗闇の中に灯る僅かな灯りがとて も幻想的な雰囲気の空間を演出しているのが 見えてきた。新たな可能性に今後も注目して いきたい。





経営問題委員会 第3回委員会 「大阪・京都視察」

委員長 内藤 靖

(㈱テラクリエーション 代表取締役)

日 時:平成30年12月6日~8日

視察先:㈱ナオミ

㈱ウエダ本社 HILLTOP(株)

参加人数:11名

経営問題委員会では、「競争力強化のため のダイバーシティの実現~人財育成・活用の 方策~」をテーマに調査・研究を進めている。 今回、中小企業の働き方改革・ダイバーシティ について、先進企業の事例研究の目的で先進 地視察を行った。

【第1部】㈱ナオミ

場 所:㈱ナオミ 本社

内 容:①講話「ナオミ流働き方改革」

②講話「入社3年目社員によるマー ケティング戦略の方法 |

③施設見学

講 師:駒井 亨衣 氏(代表取締役)

女性躍進企業として、小型 充填機シェアNo.1企業の同社 流の働き方改革について学ん だ。社員教育を実施する中で、 経営陣と従業員、従業員間同 十でも違う部署との交流を持 たせるための施策をとってい ることについて学んだ。



また、社員の柔軟な発想を尊重して「否定



しない」、「先ずはやってみよ う」の精神が事業成長をさせ 場 所:㈱ウエダ本社 北ビル 的に事業にチャレンジさせる ことにより、生み出された企 業成長の結果であることを感 講 師:岡村 充泰氏(代表取締役社長) じた。

続いて、入社3年目の田中氏から、企業成 長させるために自身ができることを考え、取 り組んだ、web・SNSを利用したマーケ ティング方法について学んだ。取扱商品であ る「充填機」は、商品名が分かりにくいこと から、webで積極的に商品情報を発信する ことにより、取引先や仕事の引き合いを増や していき、結果として売上高を2億円増やし たとの話には、衝撃を受けた。



講話後、社内及びショールーム見学をさせ ていただいた。社内では、充填機を組み立て る現場、使用方法等について従業員の方々か ら説明いただいた。

従業員を活躍させるためには、経営陣と従 業員との距離を近くし、社内のコミュニケー ション力を上げることが必要であるという事 を改めて認識させられた。



【第2部】㈱ウエダ本社

た、とのお話は、社員に積極 内 容:①講話「ウエダ本社は何を、何故、

やっているのか? |

②施設見学

事務用品の卸売りから働く環境の総合商社

として「世の中に役 に立つ存在」=「倒産 しない企業」という 発想から、企業の意 義を見い出し、さま ざまなメディアにお いて取り上げられて いる事例について講



話を受けた。岡村社長は、京都経済同友会の 常任幹事。

ルとして、①調べる②考える③描く④形にす る⑤確かめる、の5つのポイントがあると力 説。

また、これからの働き方改革を考える時に、 「ワークスタイルを変えるにはワークプレイ スを考えること」との結論を出し、時間をか けて取り組んで結果を出されたとのこと。そ の後に見学した女性が子供を連れて出社でき るオフィス「Megami | もその例の1つであ り、従業員に環境によって働き方が違う、と の言葉を体現していることを実感できた。



【第3部】HILLTOP㈱

場 所:HILLTOP㈱ 京都本社

内 容:①講話

②施設見学

講 師:山本 昌作 氏(代表取締役副社長)

多品種小ロットの機械加工事業、装置開発 事業として試作開発を中心に成長している同 社を視察した。

メーカーの下請けとして創業した同社であっ たが、毎年強いられるコストダウンを避ける

ため、その当時シェ ア80%あった取引先 との取引をやめ、量 産から試作へと業態 切替を行っていき、 また、昔からの夢で ある「無人化工場」



と「HILLTOP system」の構築に至るまで の経緯のお話は、夢の実現に向けた行動力や 取引先に振り回されない事業の強みをつくる 働きやすいオフィスづくりのビジネスモデーために、取引先のシェア率を常に見直してい るという話には感銘を受けた。

> また、山本副社長は、「若手社員のやりた いことを積極的にやらせる」、「面白いものが あったらどんどんやってみる」との発想を持っ ており、同社内にある「Who's Lab」という 開発を自由にできる部屋や6ヶ国の人材も雇 用する等、新たな発想を生み出せる環境づく りにも力を入れていると感じた。



また、今回視察をさせていただいた中で、 当委員会会員との取引が期待できそうなお話 もあり、収穫のある視察であった。

以上、3社を視察した中で、企業の先進事 例や働き方改革取組の事例等について学ぶこ とができた。

企業の成長のためには、人財育成や施策・ プロジェクトができあがるまでの時間がかか る点等、一朝一夕ではできないことを改めて 感じた。今後の調査研究をまとめていく中で、 実りが多い、大変有意義な「大阪・京都視察」 となった。

未来経営研究会 通常総会・第2回例会「講演会」

代表世話人
平野
一昭(西部生コン㈱
代表取締役)



講師:中里 聡 氏

中里建設㈱ 代表取締役

演題:「創業の理念をもとに経営革新」

~次の100年を目指して~

〈略 歴〉

1964年 田沼町生まれ

日本大学理工学部土木工学科を卒業後、中里建設株式会社 1986年

同社代表取締役専務に就任 1999年 同社代表取締役に就任 2006年

2015年 一社)日本水中ロボット調査清掃協会専務理事に就任、

同年アクアピグで特許を取得

2018年より、史跡唐沢山城跡保存会会長に就任し、ガイド等を通じて地元の魅力を発信する活動も精力的に行っている。

日 時:平成30年12月18日(火)

17:00~17:50

会場:ホテル東日本宇都宮 2階『平安』

参加者:48名

【会社概要・建設業界の現状】

中里建設は、今年で創業98年目を迎えまし たが、長い歴史の中で、橋を造ったり、中学 校を造ったり、河川工事等の公共建設事業に 携わってまいりました。この間に栃木県知事 優良工事表彰も14回受賞しております。

我が国の建設業の現状を申しますと、建設 投資額は、平成4年に84兆円のピークから、 全国的には20%~30%以上落ち込んでいます。 公共機関の発注額ですが、32兆円であったも のが、今は10兆円減っております。

建設業に従事する技能者、労働者の減少で すが、高齢化が進み55歳以上が3割を占め、 30歳未満が減っている現状にあります。

当社の売上は、私が入社したのが、昭和61 年ですが、平成になってからの30年をまとめて みますと、平成の初めが1億数千万円だった のが、現在4億円を超え、30年間で増加しま した。この間、営業利益率は全国の中小企業 水準同様に、なかなか5%までには届きません でしたが、会社が一番どん底であった平成18 も生活の基盤となるライフラインを護るとと

年に私が社長を引き継いで以降、なんとか右 肩上がりで経営を回復させてまいりました。

私が中里建設を引き受けた時点で、様々な 問題点がありましたが、経営理念も社是も何 も無く、原価管理やら経営計画等も無く、社 員等のモチベーションも低下しており、社内 的にたいへん不安定な経営状態でした。

どうやってこの会社を立て直すか、あるい は会社を存続するためにはどうしたら良いの か、ほんとうに悩みました。

【経営理念と新規事業】

そのような頃、佐野青年会議所の先輩経営 者に誘われて、ある経営研修を受講していま したが、その研修で会社の経営理念をつくり なさいと言われました。当社に最も適する経 営理念って何だろうと考え、まず当社の歴史 を振り返ることから始めました。

実は、当社の創業者は井戸掘りから起業し ました。水不足で困っていた地域の人々のた め、命を繋ぐために井戸を掘ったのだと思い ます。

そして、それからずっと長きにわたり、公 共の建設事業に携わってきた公共工事の請け 負いをメインとしてきた会社であります。

当社は、この長い社歴を踏まえ、これから

いく会社であり、何業かと問われれば《ライ 界で日本だけだと思います。 フライン創造業》であると気が付きました。

すなわち、お客様が安全・安心な生活を営 むためのライフラインを確保し、そして未来 の子どもたちの新しい生命を創るために、豊 かで快適な生活の創造を目指そうとして、経 営理念を『いのちを護り、生命を創る』と定 めました。

創業者の思い、創業の精神に立ち返り、創 業以来の生業である《ライフライン創造業》 を土台にして生まれた経営理念をもとに、こ れを会社経営の太い根幹として、全ての事業 がこの経営理念に即しているかどうかを経営 の判断基準にしようと決めました。

そしてこの経営理念を実施するために品質 方針を定め、様々な問題解決のための社内改 革を行い、経営理念に則り新規事業を開発す る等の経営革新に取り組んでまいりました。

私が専務であった平成16年から、ロボット 清掃という事業を始めていましたが、社長就 任後の平成19年に、会社の現状と将来的な建 設不況の到来を見越して、従来の土木建築工 事業とは違う仕事が必要になってくるだろう と思い、水理部門を創設しました。

そしてこの時、経営理念に照らし合わせた ところ、インフラの最たるものは『上水道』 であって、これはまさしく経営理念に即した 事業であり、当社が担うべき事業であると大 いに腑に落ちまして、『水理事業』を開業し ました。

そのおかげで、この10年を経て最近は『水 理事業』関連の様々な表彰をいただいたり、 あるいは今回ご臨席されています国際協力機 構 JICA 様の案件化調査事業に採択されるま でになりました。

水道が国内に引かれて130年が過ぎました。 水道普及率は98%を超えていまして、国民皆 水道、世界に冠たる日本の水道と称えられる

もに、新たなライフラインを創り・維持して をつけて水を飲めるような慣習・文化は、世

そのぐらい、日本人にとって空気のように 当たり前に感じている水道が、海外では非常 に難しいことはおろか、実は国内でもメンテ ナンスをしなければいけない状況にあるとい うことを知っていただきたいと思います。



それから、水道管だけではなく、つくった 飲料水を貯めるタンク・配水池、こちらもい ろいろと問題がありますので、そういった水 道施設をメンテナンスしていこうというのが、 『水理事業』による提案でございます。

実は道路下に埋まってる水道管は、国内に 65万キロメートル余りあります。それは凡そ 地球16周分以上、地球から月までが38万キロ メートルですので、月まで行って帰ってくる ぐらいあります。民間の水道管を入れたらもっ と膨大になりますが、公営水道としては、栃 木県だけでも1万5千キロメートルあること を知っていただきたいと思います。

また、私どもの『水理事業』では、配水池 内の水を抜かずに、ロボットで清掃しましょ うと提案しています。そして、上流にあると いうことは、おそらく下流にもあるだろうと いうことで、水道本管の中を人間と同じよう に内視鏡カメラでのぞいたところ、やはり汚 れているので、掃除をしようと考えたのが、 この「アクアピグ」による洗浄工法です。

【アクアピグ工法】

「アクアピグ」は、消火栓とか空気弁から ように、公園に行って子どもが蛇口に直接口 水圧で押し込んで、3,000メートルを一気に

洗浄できるメリットがありますが、他の工法(はもっとひどいところもあります。 で長距離を一気に清掃することはなかなか難 しいと思います。そして、水道メーターから 先は、宅内の給水管ですが、これはオゾンを 使った殺菌洗浄を行っています。最上流で水 をつくるところから、エンドユーザーの蛇口 に至るまで、一貫して水道管内をメンテナン スする、あるいは上水道施設を保全する、こ れが私どもの『水理事業』です。

水中ロボットはオイルレスで、濁らせずに、 飲料水を家庭に供給運転しながら点検・清掃 することが可能です。このロボット清掃工法 は、水道事業者が上水道施設を維持管理する 際にバイブルにしている、公益社団法人日本 水道協会発行の『水道維持管理指針2016』に 掲載され、最近とても全国的に注目されてい ます。

水道管内を洗浄する「アクアピグ工法」は、 補助金をいただきながら、当社敷地内に実験 場を造りまして、研究開発を行ったところ、 特許を3つほど取得することができました。

この「アクアピグ」 のような、縮んだり 伸びたり自在に変化 しながら、この1個 のピグで洗浄するこ とができる技術は、 今までございません でしたので、研究の



上、開発できたということです。これまでの 私どもの洗浄1回の最長記録は実に2,780メー トルです。

10月現在でこれまでに約5万メートルを洗 浄した実績がありますが、長い距離を一気に 洗浄すると、メーター当たりの単価が下がり コストダウンが可能になったため、他の工法的に取り組んでいきたいと思っています。 と比べて優位性があるものです。

おいてもこれだけの水道管内の実態があるわ けですから、インドネシアの上水道など海外

先般、当社が宇都宮大学の山岡教授のお力 添えを得て計画した、JICA 様所管の中小企 業海外展開支援事業における案件化調査が採 択されました。栃木県初の採択ということで すが、来年、インドネシアにおいて、「アク アピグ工法」のテスト施工を実施することに なりましたので、水道水質の改善等に努めて まいります。

当社のこの洗浄技術を提供することで、将 来的には自分たちでメンテナンスをして欲し いなあと思っています。そのために、私ども が行って、現地のパートナーを募り、この技 術を共有していきたいなという風に考えてお ります。

JICA 様の案件化調査事業が終わった翌年 からは、普及・実証事業の計画を立てまして、 またこれが採択されれば、現地のローカル企 業と、さらにインドネシア国内に広範囲な営 業展開を模索し、できれば「アクアピグ工法」 に関する技術指針の作成に努めたり、法制化 を検討するといったことに取り組んでまいり たいと思います。

中長期的には、果たして実現できるかどう か分かりませんが、インドネシアでビジネス 展開できれば、他国ではもっとできるような 気がしますので、インドネシアの実績を一つ のモデルケースにして、他国にこれを展開し てまいりたいと思います。

【最後に】

最後に、最近、当社専務発案により、『い い仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言』を行い、 また、とちぎ女性活躍応援団にも登録いたし ました。当社では女性社員が現場に出ていま すので、女性が活躍する職場づくりにも積極

また当社では、「アクアピグ」等を活用し そして、海外展開におきましては、日本にた『水理事業』を通して、持続可能な開発目 標SDGsの達成に向けて、積極的にチャレ ンジしていきたいと考えております。

プロスポーツホームゲーム観戦事業 栃木SC観戦へ

日 時:平成30年10月7日(日)

14:00~16:00

会 場:栃木県グリーンスタジアム

参加者:10名

今年度も昨年に続き、プロスポーツ観戦事 業を実施。第1弾として栃木SCのホームゲー ムを観戦した。対戦チームは三浦和良選手も 所属する横浜FC。観戦した試合は、当会会 員の北関東綜合警備保障創立50周年記念スペ シャルマッチであり、5,683人の多くのファ ンがグリーンスタジアムに集まり、熱い声援 を送った。



J2復帰1年目となる栃木SC。試合は序 盤から互いにFWを目がけたボールからセカ ンドボールを拾って、チャンスにつなげるこ とを狙う戦い。試合は最後までセカンドボー ルを拾ったほうが相手ゴール前に攻め込む攻 合い・守合いの様相を呈したが、互いの集中 睦を図ることができた。



力は途切れることなく、ゴールも生まれずに スコアレスで終了。

栃木SCはピンチを全員でしのぎ、勝点1 を取った。

どんな状況であっても止まらずに"前に進 み続ける"ことを成長へとつなげていくチー ムづくりで躍進する栃木SCの来シーズンの 更なる活躍に期待したい。



暑い日差しの中、集中力の途切れない接戦 に、力強い声援を送ることで、会員同士の親



【観戦試合結果】

栃木SC VS 横浜FC

前半 0-0 後半 0-0 0 - 0

観戦終了後、ピッチにお り見学会を実施。

グリーンスタジアムの芝の 状況や選手ベンチの様子な どを見学した。

プロスポーツホームゲーム観戦事業 ~リンク栃木ブレックス観戦~

日 時:平成30年12月8日生

15:05~17:30

会 場:ブレックスアリーナ宇都宮

参加者:32名

プロスポーツホームゲーム観戦事業第2弾 として、リンク栃木ブレックスのホームゲームを観戦した。対戦チームは今季リーグ随一 のディフェンス力を武器にチーム力の高さを 示している琉球ゴールデンキングス。

かつてブレックスでアシスタントコーチを 務めた佐々宜央氏がヘッドコーチを務め、ま た、ブレックスでプレーした古川選手や須田 選手を擁し、ブレックスファンからも注目度 の高い試合であった。



東地区首位の栃木ブレックスは西地区首位 の琉球ゴールデンキングスと対戦。ホーム戦 で史上2番目に多い4,450人の観客を動員し た首位対決は最後まで白熱した。



延長戦では5分間でも決着がつかず、再延 長に突入する点の取合いの試合展開に応援に も熱が入った。この試合で栃木ブレックスの ロシター選手は、リーグの1試合個人最多得 点記録を更新する52得点を達成した。



選手たちの気迫溢れるプレーや最後まで諦めずに戦う姿勢に、見ている全ての人が熱い声援を送った。チームの理念「強く愛されるモチベーションあふれるチーム」へと成長し続ける栃木ブレックス。今後のさらなる活躍に期待したい。



今回も多くの会員に参加いただき、プロスポーツホームゲーム観戦事業を通して、大いに会員同士の親睦を図ることができた。

【観戦試合結果】

栃木ブレックス VS 琉球ゴールデンキングス

第	1クオーター	11 - 21
第	2 クオーター	19 - 18
第	3 クオーター	17 - 16
第	4 クオーター	23 - 15
		70 - 70
延	長	8 - 8
延	長	12 - 15
		90 - 93

会務報告	平成30年10月~平成30年12月(敬	(称略)
内容•日時	議事・報告等	出席者
未来経営研究会 第 2 回世話人会 平成30年10月15日(月) 17:00~18:00	議 事 (1) 平成30年度の活動計画(総会、例会)について (2) 第2回例会(講演会)について (3) 第3回例会(海外視察)について (4) その他	16名
第2回幹事会 平成30年10月17日(水) 16:30~17:00	議 事 (1) 経営問題委員会委員長の選任について(案) 報 告 (1) 第31回全国経済同友会セミナー決算見込について (2) 30周年記念事業について (3) 4経済同友会交流会について (4) その他	28名
第2回理事会 平成30年10月17日(水) 17:00~17:20	議 事 (1) 会員の新規入会(案)について 報 告 (1) 会員の異動について (2) その他	12名
第 4 回企画運営委員会 平成30年11月13日(火) 16:00~18:00	検討事項 (1) 2019年度事業活動方針・予算策定方針について (2) 次年度委員会テーマ・委員長の選定について (3) 新委員長会議について (4) 報道関係者との意見交換会について 報告事項 (1) 新年例会について (2) その他	15名
第 4 回地域振興委員会 平成30年11月29日休 16:00~17:45	議 事 (1) 提言書の内容について 報 告 (1) 訪日外国人モニターツアーについて (2) その他	28名
第3回理事会 平成30年12月11日(火) 16:00~16:20	議 事 (1) 会員の新規入会(案)について 報 告 (1) 平成30年度上期 理事の業務執行状況について (2) その他	10名

内容•日時	議事・報告等	出席者
第 3 回幹事会 平成30年12月11日(火) 16:30~17:20	議 事 (1) 2019年度事業活動方針・予算策定方針(案)について (2) 次年度委員会テーマ・委員長の選定(案)について 報 告 (1) その他	28名
第2回行財政改革委員会 平成30年12月13日(木) 10:00~11:30	議 事 (1) 平成29・30年度活動実績について (2) 今後の活動予定について 報 告 (1) 次年度委員会テーマについて (2) その他	12名
第 5 回企画運営委員会 平成30年12月14日儉 17:00~17:30	検討事項 (1) 2019年度事業活動方針・予算策定方針(案)について (2) その他 報告事項 (1) キャリア教育アワードの受賞について (2) その他	14名

中学校・高等学校への講師派遣事業 (実施順、敬称略)

〇大田原市立黒羽中学校(2年生)		聴講者数
11月1日(木)	㈱オニックスジャパン 代表取締役 大西 盛明	72名
〇宇都宮市立姿	川中学校(1年生)	聴講者数
11月17日(土)	㈱安藤設計 取締役総務部長 安藤 篤史	
	ビューティーアトリエグループ(総美有限会社) 代表取締役社長 郡司 成江	
	㈱鈴和 代表取締役社長 鈴木 秀明	
	㈱アイディ 代表取締役 田村 晃	246名
	日産自動車㈱ 理事 栃木工場長 中村 卓也	
	㈱花のギフト社 代表取締役社長 益子 博美	
	㈱三井住友銀行 北関東法人営業二部部長 松本雄一郎	
	㈱みやもと 代表取締役 宮本 誠	
〇鹿沼市立南摩中学校(全校生徒) 		聴講者数
9月19日(水)	栃木小松フォークリフト㈱ 代表取締役会長 橋本 恵美	85名
〇鹿沼市立北犬飼中学校(2年生)		聴講者数
10月3日(水)	宇都宮中央法律事務所 代表弁護士 澤田 雄二	
	日本放送協会 宇都宮放送局 局長 村木優実子	93名
	㈱ダイニチ 相談役 吉田 恭平	

ボランティアプロフェッサー講師派遣事業 (実施順、敬称略)

○宇都宮大学	工学部 〔講座名:経営工学序論〕	聴講者数
11月 6 日(火)		47名
11月13日(火)		53名
11月27日(火)	㈱ヤオハン 代表取締役社長 財田 忠典	58名
12月 4 日(火)	(株)ヤオハン 代表取締役社長 財田 忠典	68名
12月11日(火)	(株)フェドラ 代表取締役 陳 賢徳	59名
12月18日(火)	(株)フェドラ 代表取締役 陳 賢徳	72名
12月25日(火)	(株)青木製作所 代表取締役 青木 圭太	58名
1月8日(火)	(㈱青木製作所 代表取締役 青木 圭太	38名
○宇都宮大学 全学部 〔講座名:とちぎ企業人に学ぶ〕		聴講者数
11月 5 日(月)	(株)オニックスジャパン 代表取締役 大西 盛明	21名
11月12日(月)	(株)古口工業 代表取締役 古口 勇二	23名
○作新学院大学 経営学部 〔講座名:経営実践講座〕		聴講者数
11月1日(木)	(株)フェドラ 代表取締役 陳 賢徳	75名
11月1日(木)	㈱大高商事 代表取締役会長 高橋 和夫	85名
12月 6 日(木)	(株)ハヤブサホールディングス 代表取締役 野田 和郎	85名
12月20日(木)	(㈱酒井建築設計事務所 代表取締役社長 酒井 誠	75名

栃木交流研究会事業 RADIO BERRY「Thursday Talking Bar」出演者一覧 (敬称略)

放送回	放送日	出演	者	
# 1	10/4	大成建設㈱ 関東支店 宇都宮営業所	所 長	大曲圭一郎
# 2	10/11	パナソニック(株) 関越支店	支店長	渡邊肇
# 3	10/18	富士通㈱ 栃木支店	支店長	遠藤 哲也
# 4	10/25	東京ガス㈱ 宇都宮支社	支社長	吉田 範行
# 5	11/1	東京海上日動火災保険㈱ 栃木支店	栃木支店長	西村 拓浩
# 6	11/8	キリンビール(株) 栃木支社	支社長	山口 和子
# 7	11/15	㈱竹中工務店 栃木営業所	栃木営業所長	岡田 敏治
# 8	11/22	損害保険ジャパン日本興亜㈱ 栃木支店	支店長	佐藤 政文
# 9	11/29	㈱関電工 北関東・北信越営業本部栃木支店	栃木支店長	谷田部幸男
#10	12/6	日本生命保険相互会社 宇都宮支社	支社長	加藤雅敏
# 11	12/13	東日本電信電話㈱	理事 栃木支店長	長谷部周彦
#12	12/20	SMBC日興証券㈱ 宇都宮支店	支店長	戸田 博之
#13	12/27	㈱JTB 宇都宮支店	支店長	三野輪明人

放送形態: F M 栃木 (76.4 F M)

放送時間:16:30~ 約10分間 (ワイド番組「B・E・A・T」内コーナー番組)

新しい仲間たち

- ●新入会員(敬称略・氏名50音順)
- ・平成30年12月11日 平成30年度第3回理事会での新規入会者
- 1. 会 員



かわぐち **繁史** 川口 **篤史** (㈱川口鉄筋建設 代表取締役

紹介者 岩見 髙士



なかむらた きぶろう 中村太三郎 ㈱宇都宮グランドホテル 代表取締役

紹介者 中津 正修



かず き **羽石 和樹** ## ローラン 代表取締役社長

紹介者 新井賢太郎

※平成30年12月末日現在の会員数は279名、準会員数は12名です。 引続き会員増強にご協力願います。